

# ユニバーサルデザイン まじゅくくろワークショップ

## 参加者募集

③年齢④連絡先(電話・ファクス・メール)⑤応募の動機⑥手話・未就学児の一時預かり等が必要な場合はその旨を記入し、〒135-8383 区役所まじゅくくろ推進課やさしいまじゅくくろ担当

区と区民との協働でワークショップを行い、ユニバーサルデザインまじゅくくろ(年齢、性別、国籍、能力などの違いを尊重しつつ、誰もが使いやすい安全で安心な環境をつくるため、自治体・住民・事業者が協働で進めるまじゅくくろ)について考えます。

また、小学校へ出向いて出前講座を行い、こどもたちと交流しながらユニバーサルデザインの考えを広めていきます。

昨年度は八名川小、元加賀小、第二亀戸小、第三砂町小、第六砂町小で出前講座を行いました。障害者、高齢者、子育て中の方

や興味のある方は、ぜひご参加ください。

⑥ 6月9日(日)午後1時半～4時半(平成26年3月までに約8～10回開催予定。原則土・日曜を予定※出前講座は小学校の開校日に実施※すべての開催日に参加できなくても可能)

⑦ 富岡区民館ホール(富岡1-16-12) ⑧ 30人(応募多数を参考に選考) ⑨ 導入講座、まち歩き、小学校への出前講座、フォーラム等 ⑩ 5月27日(月)必着

# 土のうを配付 もしもの時の 浸水被害に備えて

6月ごろから梅雨、台風の季節を迎えます。昨今は排水能力を超える短時間集中豪雨により、道路冠水等の被害が発生しています。皆さん一人ひとりが備えておく必要があります。水害に備えるため、日ごろからテレビやラジオ、インターネットなどで情報を確認し、気象の変化に注意しましょう。

送は、区が指定した日に行います。台風接近時等の当日を含む直前対応は困難です。ぜひこの機会をご利用ください。

※区が配付した土のうを保管している方で、袋が破損している場合は袋のみの配付も行っています。なお、多量の場合等、配付できない場合があります。

⑪ 5月受付分の配付日 6月3日(月)以降の区が指定する日

⑫ 5月24日(金)までに電話で河川公園課工務係

☎(3647)2538

# 光化学スモッグにご注意を 発令・解除・濃度等各種情報をメールで配信

5月～9月は「光化学スモッグ」が発生しやすい時期です。光化学スモッグは、気温が高く、強い日差しで風の弱い空気のことだ日に多く発生します。原因は、自動車や工場から排出される窒素酸化物などが紫外線と複雑な光化学反応をおこし、二次的に生成されたオキシダントが高濃度に発生することにより、オキシダント濃度が高くなると、目のチカチカやのどの痛みなどの症状が出ます。

都は、光化学オキシダント濃度が高くなった場合、注意報等の発令を行います。区は、都の

発令を受け、保育園や児童館・出張所などに表示板を掲出し、注意を呼びかけています。

注意報などが発令されたら 次のことにご注意ください。

○なるべく屋外に出ない  
○屋外での運動はひかえる  
○自動車の使用はひかえる  
○目がチカチカしたり、のどが痛くなったときは、目を洗うがいをする

# 生活保護制度 暮らしに困ったときは相談を

生活保護は、憲法第25条の定めに基づき、現に暮らしに困っている国民の誰もが受けられます。「病気やけがなどで収入がない」「働いていても収入が少ない」など、生活費や住宅費、医療費等に困っている方にその不足分を補うとともに、自力で生活していけるよう援助します。

生活保護は、国の決めた保護基準(最低生活費)とその世帯の収入を比較して、収入が保護基準を下回る場合に、不足する分が支給されます。

ただし、次のような場合は、各世帯に応じた努力を、生活保

護に優先して行っていたら、この限りです。

○預金や土地などの資産は活用する

○働ける人は能力に応じて働く  
○親子、兄弟姉妹などからできるだけ援助を受ける  
○年金や各種手当などの法律などの給付を活用する

談所等に連絡してください。月～金曜の午前8時半～午後5時15分

○江東区保健所 ☎(3647)5855  
○深川保健相談所 ☎(3641)1181  
○城東保健相談所 ☎(3637)6521  
○深川南部保健相談所 ☎(5632)2291  
○城東南部保健相談所 ☎(5606)5001  
○その他の時間帯  
○東京都保健医療情報センター ☎(5272)0303

光化学スモッグ情報をメールでお知らせ

東京都環境局のホームページ http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/

環境保全課調査係 ☎(3647)6148

# 語り継がれる「口承文芸」 昔話や伝説など 講演会・セミナー

口承文芸とは各地に伝わる昔話や伝説など口伝えに語りつがれてきた文芸です。日本口承文芸学会の大会が深川江戸資料館と森下文化センターで開催されるのを機に、どなたでも楽しめる講演会と語りセミナーに皆さんをご招待します。

江戸・東京から日本の民俗・口承文芸を考える講演会

口承文芸研究の第一人者が、多彩な切り口で「江戸・東京」について講演します。

⑬ 6月1日(土)午後1時～4時半 ⑭ 深川江戸資料館小劇場 (白河1-3-28)

江戸・深川のくらしと語り  
七不思議・相撲の話など

江戸の物売りの声や、地域に伝わる七不思議、江戸・深川の歴史・暮らしに根差したお話を語り、それらに隠された民俗学的な意味や歴史的な背景を解説します。関連する写真や版画などもお楽しみいただけます。

内容	講師
200歳を迎えたグリム童話—その現代における意義	間宮史子(白百合女子大学准教授)
哭きからウタへ：琉球と日本本土の葬送歌をめぐって	酒井正子(川村学園女子大学教授)
江戸東京の民俗信仰	大島建彦(東洋大学名誉教授)

⑮ 6月2日(日)午前10時～11時半 ⑯ 森下文化センター多目的ホール(森下3-12-17)

講師 久野久美子・小松千枝子(聴き耳の会)、鈴木実穂(江東子どもの本研究会)、布川きみ(おはなしパレット)、沼尻順之助(渋谷民話の会会長)

※いずれも ⑰ 各50人(申込順) ⑱ 無料

⑲ 5月15日(水)から深川江戸資料館に電話または窓口で ☎(3630)8625

凡例 時日時 場所 集集合 対象・定員 費用 内容 講師 保一時保育 締締切日 申申込 問問合先 HPホームページ Eメール